



子どもはたくさん欲しい

3 現在、子どもの出生率が低下しています。そのことが、将来国民年金や介護保険制度に大きく影響してきます。このことをどのように考えていますか。また、なぜ子どもの少子化が始まったとお考えですか。

- ・国民年金制度そのものを見直して個人の自由に
- ・老後について、若いうちに貯蓄を
- ・少子化の原因は自分自身の時間を充実したいからだと思う
- ・物質的に豊かになり、家族というよりも個々に欲求を満たせるようになったから
- ・男性の意識改革が遅れている（育児に非協力的）
- ・女性の社会進出が進められる一方、これに対する子育て支援や育児休暇制度の創設などが遅れた
- ・世の中の人々のライフスタイルが変わった
- ・社会情勢からいって、少子化が進むことは間違いなく、制度をかえた方がよい（国民年金、介護保険制度）

以上のような回答で、やはり大多数の方々が、少子化に歯止めは掛からないだろうと答えています。仕事や独身生活を充実させて、婚期が遅くれる。また、ゆとりを持って子育てに臨みたい（金が掛かり過ぎる）親自身が、自分の生活をエンジョイさせたい、男性の子育てに対する意識が低いなど、少子化に歯止めが掛からない現状が浮き彫りにされました。少子化が進んだ場合、国民年金、介護保険制度は将来大きく変革せざるを得なくなり福祉政策の先行きは、決して明るいものではないと考えます。

4 老後、子どもに依存しますか。

老人ホームなどのような施設の入所を考えていますか。

- ・生活が大変なので、子どもと生活している家庭などには国から援助してもらい、家族で笑顔で生活できればと思います
- ・子ども次第
- ・子どもには依存しないで、ホームの入所を考えています
- ・将来的には子どもの世話になる時代ではなくなる（しかし、子どもと生活したい）
- ・基本的には自分のことは自分で責任持つようになりたい。体が不自由になったら自宅を改造、バリアフリーで、ヘルパーさんの助けを借りながら生活し、施設はできるだけ避けたい。理想です

基本的には、老後は子どもと一緒に暮らしたいと全員が感じているようです。しかし、子どもの負担を考えたとき、依存を拒否する傾向がありますが、施設入所は80%の方々が考えていないという回答でした。

5 最後にあなたにとって、家族とはどのような存在なのか。

という問いに、生きていくための、かけがいのない大切な心の安らぎと全員の方々が答えています。



女の子がどうしても2人欲しかった。全部で6人生みました